

各位

認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸

代表者変更のお知らせ

初春の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。この度、CS神戸におきまして、代表者の変更を行いましたので、以下のとおり、お知らせいたします。創設以降30年近くにわたりCS神戸を牽引してまいりました中村順子が理事長を退き“ファウンダー”となり、新たに飛田敦子・星野裕志の2名が代表理事に就任いたします。

【ご挨拶】

この度、震災30年を機に現在の理事長職を退任し後任に引き継ぐこといたしました。皆様には長きにわたり心温まるご交説をいただき、衷心から感謝を申し上げます。震災直後の水汲み、生活支援の救援活動を前史に、コミュニティ支援、コミュニティビジネス振興、人材養成、居場所、ネットワーク形成等々、民設民営の中間支援組織CS神戸の活動は、震災復興の過程と呼応しつつも常に手探りの連続でした。市民が地域のために何ができるのかを問い合わせてきた30年ともいえます。自ら考え方判断し行動を選び取る「自立」、そして自立した個人がつながり支え合う「共生」する旗印は、これからも色褪せることはありません。複雑で困難な時代となりましたが、この精神を引き継いだ後任の代表理事二人を先頭にたくさんの仲間とはこれまで同様にご親交を結んでくださることをお願い申し上げます。今後は、ファウンダーとして、実務面で関わさせていただく所存です。立場は変わっても地域のつながりづくりはライフワークであり、私の人生から消し去ることはありません。また皆様とお会いでできること楽しみにしています（連絡先は当面、現行どおりです）。

前理事長 中村 順子



約20年前、「NPO求人」の検索ワードでたまたまヒットしたのがCS神戸でした。「絶対にここで働きたい」と思い入職、以降、多様な人々との出会いやゼロから立ち上げる市民事業の魅力に惹かれ、地域コミュニティ活動支援という領域をどっぷり邁進してきました。9年前より事務局長を務めていましたが、震災30年のタイミングで中村さんから代表のバトンを受け取ることになりました。私にとって大きな挑戦となります。同じく新代表理事となる星野さんとともに「変わること」と「変わらないこと」を両手にしっかりと携えて、皆さまのお力添えをいただきつつ、未来へのチャレンジを進めていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

新代表理事 飛田 敦子



地域の課題が多様化する中、求められるサービスを提供すること、素晴らしい活動に取り組むスタッフの皆さんに安定的かつ快適に働ける環境を提供すること、カリスマリーダーを継いで組織を持続的に維持していくことを使命として、中村さんの後を務めることになりました。これらは日本の多くのNPOが直面する共通の課題と考えています。企業での新規事業立ち上げ、大学での研究・教育、中央省庁や自治体など行政との関わりなど異なるセクターでの経験と共に、創設から28年間CS神戸の活動を続けてきました。これからは飛田さんと共に、CS神戸の活動を更に前進させていきたいと思いますので、皆さまのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

新代表理事 星野 裕志



*阪神・淡路大震災以来、被災地神戸の復興とコミュニティづくりに全身全霊を掛け、またCS神戸を立ち上げて運営してきた中村順子への敬意と感謝を込めて、ファウンダー（創設者）のタイトルを設定いたしました。

【役員体制（2026年1月）】

代表理事 飛田敦子、星野裕志

副代表理事 佐藤友美子

理事 尾花弘教、小室邦夫、佐合純、當間克雄、中村順子（ファウンダー）、山村弘美(事務局長)

監事 井上隆文、奥村一人

CS神戸の沿革

※主な新規事業のみを掲載

- 1996年 コミュニティ・サポートセンター神戸（CS神戸）の立ち上げ
事務所を魚崎財産区内に設置／民間中間支援組織活動の展開
市民活動サポート基金の創設
- 1997年 事務所移転（住吉宮町のコーベベビー株式会社内へ）
さわやかなまちかど再生支援事業の受託（兵庫県勤労福祉協会）
NPOマネジメントスクール（現NPO大学）の開講
- 1998年 特定非営利活動促進法（NPO法）の成立（12月に施行）
機関誌「市民フロンティア」の創刊
- 1999年 NPO法人の認証を兵庫県より受ける（県内第1号）
NPOネットワーク事業「オアシスプラン」企画提案し受託（神戸市）
神戸駅地下の神戸ふれあい工房を受託（神戸市社会福祉協議会）
- 2000年 共同工房 甲南NPOワークセンター 設置
魚崎わかばサロンの管理を開始（魚崎財産区）
生きがいしごとサポートセンター第1期（愛称：ワラビー）の開始（兵庫県）
- 2001年 東灘区民センター小ホールの管理受託を開始（神戸市）
西宮の共同住宅のコミュニティづくり支援事業
- 2002年 太陽光市民発電所「くるくる発電所」が東灘区魚崎南町に完成
京都大学防災研究所CEOプロジェクトの開始
- 2003年 彩都まちづくり支援事業開始（株式会社KUL）
沿革誌『コミュニティ・エンパワーメント』（7年誌）の発行
- 2004年 生きがいしごとサポートセンター神戸東（第2期）の開始
事務所移転（JR住吉駅前の住吉本町へ）
- 2005年 JR住吉駅前自転車駐輪場の指定管理者の開始（神戸市）
ユニメイト養成講座の開始
- 2006年 コミュニティ・サポートセンター神戸の設立10周年（DVD発行）
トータルケアシステム 神戸東部NPOサービスセンターの開設
- 2007年 人間力再生プロジェクト（特別な休暇制度普及促進事業）の開始
あしゃ市民活動センター支援
- 2008年 JR住吉駅前違法駐輪指導業務の受託を開始（神戸市）
- 2009年 ふるさとコミュニティビジネス創出支援事業の受託を開始（兵庫県）
ソーシャルアクション支援プログラムの受託を開始（神戸いきいき勤労財団）
介護サービス情報の公表調査事業の受託を開始（兵庫県）
- 2010年 東日本大震災支援事業を開始
東灘NPOフォーラムを開始
- 2011年 事務所を現在の東灘区住吉東町ビュータワー住吉館に移転
新しい公共支援事業ら3事業の受託（兵庫県）
神戸市内NPO活動実態調査を事業を受託（神戸市）
- 2012年 NPO設立・運営相談窓口事業の受託（神戸市）
ハンズオン・インターナンシップの開始
- 2013年 認定NPO法人格を取得
コミュニティビジネス全県展開事業の開始（兵庫県）
「まちづくりスポット神戸」の運営事業を開始（大和リース株式会社）
- 2014年 生きがい活動ステーションの開設（神戸市民文化振興財団）
「介護予防・日常生活 担い手養成講座モデル事業」を受託（神戸市）
- 2015年 「生活支援・介護予防センター養成研修等業務」を受託（神戸市）
- 2016年 居場所サミットin神戸の開始、居場所BigMap 発刊
法人設立20周年記念書籍「希望につながるコミュニティ」発刊
- 2017年 寄附型自販機「KOBE発 ヒトとオモイの交差点」を県内に設置
- 2018年 NPO法20年記念フォーラム開催（阪神・丹波・神戸）、報告書発刊
- 2019年 自主拠点「地域共生拠点・あすパーク」を神戸市灘区大和公園内に設置
神戸市コミュニティ相談センターの運営を受託（神戸市）
神戸市予約図書受取コーナー／まちスポらぼの運営
- 2020年 兵庫型シニアショートワーク事業開始（兵庫県雇用開発協会）
フードロス改善のための流通支援事業の実施（神戸市）
新型コロナに対応する地域支援事業の実施
- 2021年 食べる健康プラットフォーム事業開始
助け合いプラットフォーム構築事業開始
- 2022年 NPO・地域貢献活動フェア事業の受託（神戸市）
NPOや居場所の自己診断ツールの完成
- 2023年 地域福祉センター利活用公募運営事業の受託（神戸市）
地域活動人材発掘・育成事業の受託（灘区役所）
- 2024年 明舞団地における地域活動人材発掘業務の受託（垂水区役所）
震災30年特別企画の実施（地域の居場所34団体への助成、
若者による災害伝承事業等）
常設居場所と地元企業による「ごちゃまぜかふえ事業」の開始
- 2025年 都市型多層ごちゃまぜプラットフォーム調査事業の受託（内閣府）
休眠預金事業活動支援団体の採択（JANPIA）